教育プログラム・コースの概要

大学名等	東京薬科大学大学院 薬学研究科
教育プログラム・コース名	CAR-T療法・ICIに特化した専門薬剤師養成コース（正規課程）
対象職種・分野	薬学研究科薬学専攻博士課程臨床薬学コース大学院生
修業年限（期間）	正規課程：４年
養成すべき人材像	①がん薬物療法の中でも製剤の管理や調製、さらには副作用対策において特異的な知識や技術が要求されるCAR-T療法やICIについて、最新の知見を踏まえたpharmaceutical careを実践できる薬剤師 ②CAR-T療法・ICIに特化した職種間連携体制を構築できる薬剤師 ③職種横断的な部門の構成員として、CAR-T療法・ICI療法を俯瞰しマネジメントを行うことができる薬剤師
修了要件・履修方法	各自の専門領域必修科目および下記の追加必修項目を含めて、３０単位以上を履修し、学位論文を提出の上、審査、最終試験に合格すること
履修科目等	＜必修科目＞がん薬物療法の実習（連携大学医学部付属病院における見学実習：ただし社会情勢により実施できない場合は相当内容の講義に変更）２単位を含む所属分野の必修２６単位 ＜選択科目＞薬学基礎、医薬品情報学、薬物療法学（がんの生物システム学、緩和医療概論、緩和医療実践、がん化学療法を含む）から４単位 なお本コースはWGが分担し、企画・作成したコンテンツを東京科学大学内のサーバーに集約させ相互利用するプログラムである。このコンテンツの活用方法は各連携校の任意とするが、本学はこのコンテンツをもとに本学独自のプログラム・コースとして本コースを開講するものである。
がんに関する専門資格との連携	日本医療薬学会に対し「がんに関する講習会・教育セミナー」に認定されるよう申請し、がん専門薬剤師単位認定に必要なクレジット発行の資格を得る予定である。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	本領域は限られた医療機関でのみ実施される薬物療法であるため、薬剤師部会メンバーが所属する大学病院において本治療法に精通している医師あるいは薬剤師が主たる講師を務める。したがって、本コースを受講する学生は、がん領域における高度な臨床知識を有し、極めて専門性の高い領域での薬物療法に精通した人材として育成される。さらに本プログラムを終了した学生が、CAR-T療法・ICI療法の適正使用情報を普及させるため臨床現場で後進の指導を行うことで、入院から在宅療法に至るシームレスな薬物療法を担える薬剤師を養成できることが期待される。
指導体制	本学大学院の再生医療分野やPrecision Medicine分野に精通す薬学基礎系の教授や、がん専門薬剤師の資格を有する教授を含めた当該分野の指導教員が指導を行う。
修了者の進路・キャリアパス	がん専門薬剤師 がん薬物療法認定薬剤師
受入開始時期	令和６年４月

受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	2	2	2	2	2	10

受入目標人数設定の考え方・根拠	薬学研究科薬学専攻博士課程臨床薬学コースに例年所属を志願すると見込める大学院生の人数より、受入れ目標人数を毎年2名と設定した。

履修者数 ※当該年度に「新たに」入学した人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	2					2